

令和 8 年度 佐久市総合計画審議会第 2 部会（第 4 回） 議事録

日時：令和 8 年 7 月 9 日（木）

午前 10 時 00 分～11 時 30 分

場所：佐久市役所議会棟 第 2 委員会室

【出席者】 中澤副部長、滝沢委員（代理）、渡辺委員、井出委員、二村委員、伊藤(康)委員、木内委員、飯沼委員、伊藤(明)委員、川崎委員

【事務局】 市村企画部長、藤巻企画課長、小林企画調整係長、鷲見主任、中澤主任、久保田主事

○協議事項等

次第

1 開会

- ・副部長挨拶
- ・欠席委員報告（阿部委員）

2 議事

- （1）第三次佐久市総合計画の取組内容（第 2 章・第 3 章）について
質疑、意見

副部長	議題の（1）「第三次佐久市総合計画の取組内容（第 2 章・第 3 章）について」事務局から説明をお願いします。
事務局	第三次佐久市総合計画の取組内容（第 2 章・第 3 章）について【第 2 部会】第三次佐久市総合計画策定シートに係る意見対応表に基づき説明
副部長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	デマンド交通について、利用者が計画以上に増え、予約が取れない状況が改善できていない。地域の移動インフラとして重要であり、免許返納後の生活にも関わる。予約不成立のボトルネックが分かりにくいいため、改善に向けた前向きな記載としてほしい。
事務局	運転手不足や財源面から台数を増やしていく状況があり、予約不成立が増加している。新たなモビリティサービスの調

	査研究を行い、最適な運行方法を含めて検討する予定である。担当課とも共有し、現状にとどまらず改善の方向性を記載する。
委員	現在のデマンドワゴンが飽和状態で予約が取れないことについて、バス会社と情報共有し、増便等の相談をしているのか。
事務局	路線バスは赤字経営で厳しい状況にあり、運行事業者は高速バスや観光バスへ注力する意向があるため、路線バスがより充実することは考えにくい。
委員	利用目的が通院や買い物など明確な場合、ピンポイントで運行できれば利用者の利便性が高まる。
副部会長	空席がある一方で予約を断らざるを得ない状況がある。一定の経路で病院等へ向かう便を設定し、複数の予約を束ねるような方法も考えられる。そうすれば断る割合も減るのではないか。こうしたアイデアを検討してほしい。

(2) 令和7年度佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略評価報告(目標③・地方創生交付金事業)について

副部会長	議題の(2)「令和7年度佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略評価報告(目標③)について」事務局から説明をお願いする。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書(案)【目標③】に基づき説明
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	有機農業の推進は良いが、有機農業以外の農業後継者、耕作放棄地などに対する就農支援や計画はあるのか。実際に今支援している事はあるか。

事務局	新規就農者や認定農業者等に対して補助金を交付し、営農拡大等を支援している。例として、市内で専業就農した者に対する補助や、耕作放棄地になる手前の農地を再生する作業に対する補助を行っている。
委員	農地を所有している者だけでなく、賃借して農業を行う者も補助対象になるのか。
事務局	農地所有者に代わり、農地の賃借や作業契約により再生作業を行う者も対象となる。実際に耕作を行う者を支援する制度である。
副部会長	有機農業は売れなければ誰も取り組まない。ふるさと納税の返礼品として米、りんご等の実績や数量を把握しているか。
事務局	返礼品として米、りんご、その他果物等の登録はある。具体的な数量は手元にない。ふるさと納税は農産物振興の販路の一つだが、寄附動向に左右されるため、それだけに頼るのではなく、販路の一つとして推進している。その他にもご自身で販路をもって取り組んでいただいている。市としても農産物の振興という観点から、ふるさと納税の返礼品として推進している。
副部会長	市長によるトップセールスやアンテナショップ等を活用したPRも進めてほしい。
副部会長	「令和7年度佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略評価報告（地方創生交付金事業）」について事務局から説明をお願いします。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「デジタル人材育成・就労支援事業」について説明
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。

副部会長	交付金は1年間にどの程度国から交付されるのか。
事務局	1自治体では、5事業まで、上限1億円の範囲で申請可能である。
副部会長	次の事業について事務局から説明をお願いします。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「企業DX推進事業」について説明。
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
副部会長	企業DXと言われてもイメージが湧きにくい。介護事業所で見守りや危険把握のためにデジタルツールを導入するような取組も対象に含まれるのか。
事務局	佐久産業支援センター（SOIC）にはデジタル技術の専門人材が所属しており、介護施設を含む市内企業がデジタル技術導入に困っている場合に、提案や伴走支援を行う内容の取組である。市が間に入りながら、企業への周知や支援を進めている。
副部会長	次の事業について事務局から説明をお願いします。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「建設DX加速化推進事業」について説明。
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	我々も遠隔で色々な事を進めているが、実際に責任者が現場に行かないで遠隔だけで確認するというのを認めてよいのかどうかというのはどう判断しているのか。
事務局	実際確認する中で疑問点があれば、現場に出向くという事はある。最初の段階にデジタル技術をうまく活用する事で負担を減らすという事を考えている。もちろん何かあれば現地

	に行って対応はしている。
委員	現場に行かなければ確認できない事はある。都合のよいところだけ見せられて、都合の悪いところは隠ぺいされてしまうのでは、全然価値がない。それでは手間が増えてしまうだけ。現場の責任者等を置いて、DX でやった現場に対して誰が責任を持つのかを明確化してほしい。責任の所在があいまいになってしまっては困る。最初の段階ではもっと慎重に進めた方がよいのではないか。
事務局	運用方法は非常に重要である。担当課と共有する。
副部会長	次の事業について事務局から説明をお願いします。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「デジタルミュージアム事業」について説明。
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。 <特になし>
副部会長	次の事業について事務局から説明をお願いします。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「図書館システムのDX推進事業」について説明。
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	対象は通常の本だけか。視覚障がいのある方向けの音声資料等は対象となるのか。
事務局	音声資料等の扱いについては再度確認する。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「庁内窓口における会計キャッシュレス化事業」について説明。

副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
	<特になし>
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「保育所等 AI 入所選考システム導入事業」について説明。
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
	<特になし>
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「公共施設予約システム導入事業」について説明。
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
副部会長	オンラインで予約が重複した場合はどう調整するのか。
事務局	システム上は早く予約した者が利用できる形となる。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「3Dモデル公開による文化財の保存活用促進事業」について説明。
副部会長	古文書等は劣化し、失われる可能性がある。デジタルで撮影・保存する取組も考えられるのではないか。
事務局	本事業は遺物を対象としており、古文書は行政文書や公文書に近い扱いとなる。他自治体では文書館で過去の行政資料や古文書をデータ化し管理する例がある。佐久市では現時点で同様の仕組みはないが、劣化防止の観点では重要である。
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「胃内視鏡クラウドシステム導入事業」について説明。

副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
	<特になし>
事務局	R7 デジ田総合戦略評価報告書（案）【地方創生交付金】に基づき「電子黒板を用いた同時双方向型授業の展開事業」について説明。
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
	<特になし>

(3) 第三次佐久市総合計画における重点プロジェクト(総合戦略)素案叩き【プロジェクトⅣ】について

副部会長	議題の(3)「第三次佐久市総合計画における重点プロジェクト(総合戦略)素案叩き【プロジェクトⅣ】について」事務局から説明をお願いします。
事務局	第三次佐久市総合計画における重点プロジェクト(総合戦略)素案叩きについて説明。
副部会長	佐久市は社会増が続いていると言われるが、社会増の人数は年々減少傾向に見える。社会増であることを強調しすぎると危機感が薄れるおそれがあり、危機感を持って取り組むことが重要である。
委員	自治体に期待するのは、民間ではできない基盤づくりである。民間が活躍できるよう、交通などのインフラ整備をしっかりと進めてほしい。デマンド交通については、タクシー人材不足も含め、佐久市に合ったモビリティを検討してほしい。また、周辺部の道路、水道、橋などの維持も重要である。社会増を維持するには、都市間の相対比較で佐久市が相対優位に立つ必要がある。デジタル化を含め、周辺自治体との比較データをK P Iの機能として検討できるのではないか。

委員	まちづくりの満足度は高い結果が示されていたが、不動産業の立場からは上下水道の課題がある。公共下水に接続できない地域では開発需要があっても提供が難しく、雨水や浄化槽処理も含めて敷地内処理に負荷がかかる。公共下水に接続できないというのは、自然災害が人災化する懸念もあり、大きな問題である。それから、移住については、長野県内でも安曇野、東御、御代田など佐久市周辺地域の人気が高まり、山梨や静岡も含め全国で移住者を取り合う状況になっている。空き家バンク等で先行して人気があったとしても、手を開いていれば来る時代ではない。インフラ、働く場所、佐久市の特色を明確にしてまちづくりを進める時期に差し掛かっているのではないか。
委員	重点プロジェクト素案叩きの中で「若者や女性」という表現が複数出てくる。なぜ若者と女性を取り上げるのか。
事務局	国の総合戦略において、人口減少下では若者や女性に地方が選ばれることが重要とされているためである。ただし、方向性としては高齢者を含む全ての人を対象とするものである。
委員	団体の中でも「青年部会」「女性部会」という名称に違和感があり、「ネクスト部会」へ名称変更した例がある。若者や女性という言葉が何度も出ると、当事者にプレッシャーとして受け止められることがある。男性も含めて誰もが役割を担うという観点から、表現の多用には配慮が必要である。
事務局	他部会でも同様の意見があり、総合計画では「男女」がともに環境を理解して取り組む表現を用いている。総合戦略上、若者や女性という表現を全く使わないことは難しいが、多用しないよう工夫する。
副部長	高齢者に向けた施策も必要である。退職後、介護施設に入る前の世代が、賑やかに楽しめる場や機会があれば、老後に佐久市へ移住する選択肢にもなり得る。

事務局	福祉分野において高齢者施策を掲げている。高齢者が健康で長く活躍できるよう、社会参加やボランティア活動、教室等への参加機会を整えていく必要がある。今後の具体的な施策検討において、いただいた意見を参考にする。
委員	男性は仲間づくりが苦手な面があり、女性の方が社交的に楽しんでいる例も多い。男女が一緒に楽しめるような機会があるとよい。
事務局	総合計画で大きな方向性を示すことで、各課がそれに基づき事業を検討できる。意見を参考にしたい。
副部会長	意見を踏まえ、この方向で進めていただきたい。

(4) 第三次国土利用計画（佐久市計画）骨子案について

副部会長	議題の(3)「第三次国土利用計画（佐久市計画）骨子案についてについて」事務局から説明をお願いします。
事務局	第三次国土利用計画（佐久市計画）骨子案について説明。
副部会長	今回は説明や意見の時間が少なかったため、記載事項以外でも意見があれば発言してほしい。 <特になし>

(5) その他

副部会長	全体を通して意見はあるか。特にないため、その他について事務局から説明をお願いします。
事務局	本年度第4回目の部会となる今回で、部会での審議は終了する。次回は本年度第2回目の全体会として、8月17日(月)

副部会長	午前 10 時から、議会棟 2 階全委員協議会室で開催予定である。内容は、現行計画の令和 7 年度進行管理について各部会から報告を受け、審議会として進行管理に関する答申をまとめること、及びこれまでの審議内容を踏まえた第三次総合計画素案の審議である。 全体を通して何かあるか。 ないようなので、以上で本日の審議を終了する。
------	--

3 閉会